

黄のインターネットに殴り込め

魁!

Vポータル 企画道場

「そうじゃ! 我らがVポータルに衝撃的なコンテンツを持ち込むのじゃ!」そうじゃ! そうじゃ!」NTTコミュニケーションズ流Vポータル道場所属の戦士、湯浅將軍の「声のインターネット、Vポータルを普及させたい」との願いを受け、Vポータルのコンテンツを作ることとなった8人の戦士たち。道場には、差し迫ってきたコンテンツの一般公開をひかえ、武者震いを押さえられる者は誰一人としていなかった。「よし、それでは皆の者、世にウケるコンテンツを死ぬ気になって考えるのじゃ!」Vポータル企画道場の道場主にして師範、倉園六段の呼びかけに沸きかえる道場。しかし、彼らの行く手に、いくつもの難関が待ち受けていることを知っているのは、あの広い青空だけだった。これは時代の荒波にもまれながらも、見事Vポータルのコンテンツを作り上げた男たちの、汗と涙の物語である。

構成: 編集部 illust.: 金子ナンバイ

倉園六段。当道場の経営者にして、師範。日々、「ウケる」コンテンツを考え続けて数十年。ちなみに某インターネット誌の編集長も務めるとの噂がある。

湯浅將軍。NTTコミュニケーションズ流Vポータル道場所属の戦士。「声のインターネット」を普及させるべく東へ西へ奔走する日々を送る。

第二房

ウケるコンテンツを作るべし

謎の助っ人武富。コンテンツ屋に勤めていること以外すべてが謎に包まれた人物。Vポータルに詳しく、独自のネットワークで道場をサポートする。

新婚村田。湯浅將軍の同僚にして新婚。友達思いの彼は、ハネムーン先に新妻を残してまで、Vポータル企画道場には参じている。

訓練生たち。当道場の見習いにして編集者。右から金の亡者別井、病弱山本、ただのマヌケ河内。彼らは虎視眈々と道場主の座を狙っている。

技術部荒井。NTTコミュニケーションズ流技術部。当道場の頭脳。頼れる兄貴としてみんなに慕われているが、ギャグはまいちウケが悪い。

このページではアクセス番号を☎で表します。☎マークが出てきたら0570-0033-03に電話をかけ、そのあとの言葉をVポータルのスタートメニューで叫ぶべし!

新婚村田の底力

倉園六段(以下、倉) おい、一同！宿題であった世にウケるコンテンツとそのコールフローは考えてきておるか。

病弱山本(以下、山) もちろんですよ。僕なんて日課の点滴を忘れるぐらいの勢いで考えちゃいましたよ、ゴホホ。まずですね、カウンタックの……。

新婚村田(以下、村) 病弱殿、ちょっと待たれよ！我々にも、NTTコミュニケーションズ流としての意地があるわ！ここで、お主ら編集者崩れに遅れをとっては、ワシがなぜ花嫁をハネムーン先に残してまで、この道場にはせ参じたかわからなくなる。ここはまずワシのアイデアを皆の衆に披露しようぞ！

湯淺將軍(以下、湯) さすが我が相棒。自信がみなぎっておるの。

村 まあ聞けい。皆の衆は、世の中の人間がいちばん興味を持っているのはなんだと思われるか？

守銭奴別井(以下、別) もちろん金じゃ。人は金に生かされ、また殺されも……、

村 黙れ、金の亡者め。よいか、人間がもっとも興味を持っているのは「自分」じゃ。いま、自分にランキングをつけるとすれば、世界で何位ぐらいなのか、今日の自分は職場で何番目ぐらいにモテているか、みんなふと考えたことがあるであろう。

倉 つまり「自分」こそが、世にとって最高のコンテンツになりうるということじゃな。

技術部荒井(以下、荒) さすが新婚！独り者には考えもつかんアイデアではある。これでVポータルは安泰じゃ。

村 そこまで持ち上げられては、なんだかこそばゆいのう。じゃが、驚くのはまだ早い。この最高のコンテンツである「自分」をどのように料理するかがNTTコミュニケーションズ流の腕の見せ所じゃ。

マヌケ河内(以下、河) で、具体的にはどういうVポータルコンテンツにするのであろうか？

村 ふふふ、名付けて「自分予報～Everyday Everynight～」じゃ。右にコールフローを書いておいたので、じっくり見てみよ。

別 ナウいネーミングですな。これならヤングにバカウケですぞ。

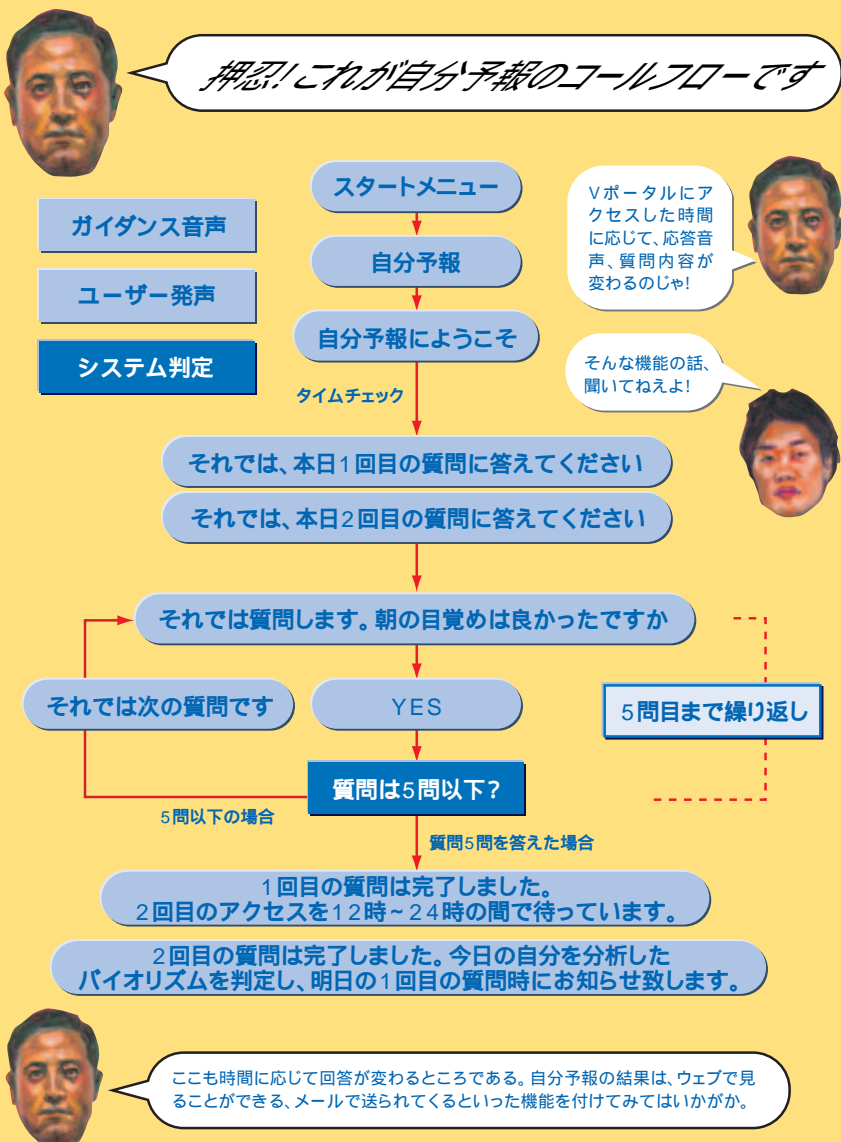
村 まあまあ、誉めるのは詳細を聞いてからにしてもらいたいものじゃな。この「自分予報」ではまず最初にホームページで生年月日、出身地、血液型、メールアドレス、携帯電話の番号などを登録するのじゃ。心理テストを行って、ユーザーの性格をつかんでおくのもいいかもしれん。

助っ人武富(以下、武) おいおい、新婚殿。Vポータルはせっかく電話で気軽にアクセスできるインターネットという点が特徴になっておるのだ。ホームページで多くの情報を登録させるのは感心せんのか。

村 まあ、話は最後まで聞け。このコンテンツは、ホームページでの登録が終了し

たら、その日からVポータルに朝夕2回、必ず電話をしなければならない仕組みになっておるのじゃ。電話でこのコンテンツにアクセスすると「朝の寝覚めは良かった？」「朝食食べた？」「電車は込んでいた？」などの質問に5問くらい答える。すると、次の日に質問に対する答えをVポータルが分析して、「今日は、気持ちにゆとりを持って仕事をしましょう」「体力が落ち気味なので週末にはスポーツをする計画を立てよう！」などといったアドバイスをもらえるのじゃ。
倉 う～む、しかし1日2回も電話をかけさせるのは至難の技ぞ。

村 1日2回電話をかけないと、アドバイスがもらえないようにするのじゃ。そうすればイヤでもかけてくるであろう。





山 いや、かけ忘れたらもう二度とこのコンテンツにはアクセスしなくなるといいますぞ。電話で1回につき5問もの質問に答えるのは、めんどくさいですからな。

村 ぐう。いいのじゃ、ワシには嫁がいるから、こんなコンテンツはなくても体調管理くらい嫁がやってくれるのじゃ。どうだ、うらやましいか、この未婚者たちめ!

アイデアを絞り込め!

湯 まあまあ、落ち着け新婚。しかし、「自分」に関するものが最良のコンテンツであるという考え方は悪くないぞ。だれか、ほかに「自分」をテーマにしたコンテンツを考えたものはおらんのか。

山 あ、その前に私のカウンタックのアイデアを。自分は病弱ですがカウンタックのようなスポーツカーの音が大好きなのです。そこで、自分の好きな音を街で録音して、それをVポータルに吹き込んで、ほかの人の吹き込んだ音と闘わせるのです。これなら、みんな負けたくない一心で、いろいろな音を集めて毎日アクセスしてくれるのではないのでしょうか。カウンタックのエ

キゾーストノートは強いですぞ。

村 うむ、ワシも「自分予報」に他人と競い合い、自分のその世界でのランキングを知るという要素は入れたかったのじゃ。

河 ひらめきましたぞ! 新婚殿と病弱殿の考えをマージして、ゲーム性を持った「自分予報」というのはいかがであろうか? たとえば毎日自分の感情を30秒ぐらいでVポータルに吹き込む。するとウェブや携帯電話の待ち受け画面に表示してある自分の顔が、怒っているときには怒っている風に、喜んでいるときには喜んでいる風に変化する。自分がどんな精神状態にあるのかもわかるし、「育てゲー」の要素もある。名付けて「自分育てゲーム」です!

荒 うむ、そのアイデアはおもしろい。さっそく技術部の私がコールフローを作ってやろう。右のフローをご覧ください!

別 バカモン! 先ほどから聞いておれば自分、自分とわけのわからぬことを言いおって。よいか、金を稼ぐには個人を相手にしてはイカンじゃ。まずは企業を相手に商売をせねばのう。ということで「就職Vポータル」というコンテンツはいかがであろうか? 詳しくは下に書くが、これを見



就職Vポータルは金になるぞ!



自分育てゲームはイラストがキモです!

就職希望者
(ウェブサイトから)

事前にウェブサイトから、住所、年齢、氏名、電話番号など履歴書に書く内容と、自分の登録番号を入力してもらおう。

企業

企業は、就職希望者からのメッセージを聞いて合否を判定。合格した人の履歴情報をVポータルから受け取る。

プレイヤー
(携帯電話)

電話から、1日1回今日の自分の“思い”を吹き込む。吹き込んだ思いは、Vポータルシステムで、喜怒哀楽どれかのステージに割り振られる。

自分の吹き込んだ思いに応じたイラストが、携帯電話の待ち受け画面として送られてくる。怒ってばかりだと、怒ったイラストばかりが待ち受け画面になる



Vポータルシステム

Vポータルシステム

就職希望者
(電話から)

就職希望者は、就職したい会社を指定し、自分の登録番号を言った後に企業に対する熱い思いを、Vポータルに吹き込む。

就職試験では一次審査は書類によるものが普通だ。しかし、それを“声”にすることでしゃべり方などからより深く受験者の性格などをつかむことができるというメリットが企業にはあるのだ。金のおいがぶんぶんするじゃろ!



プレイヤー
(パソコン)

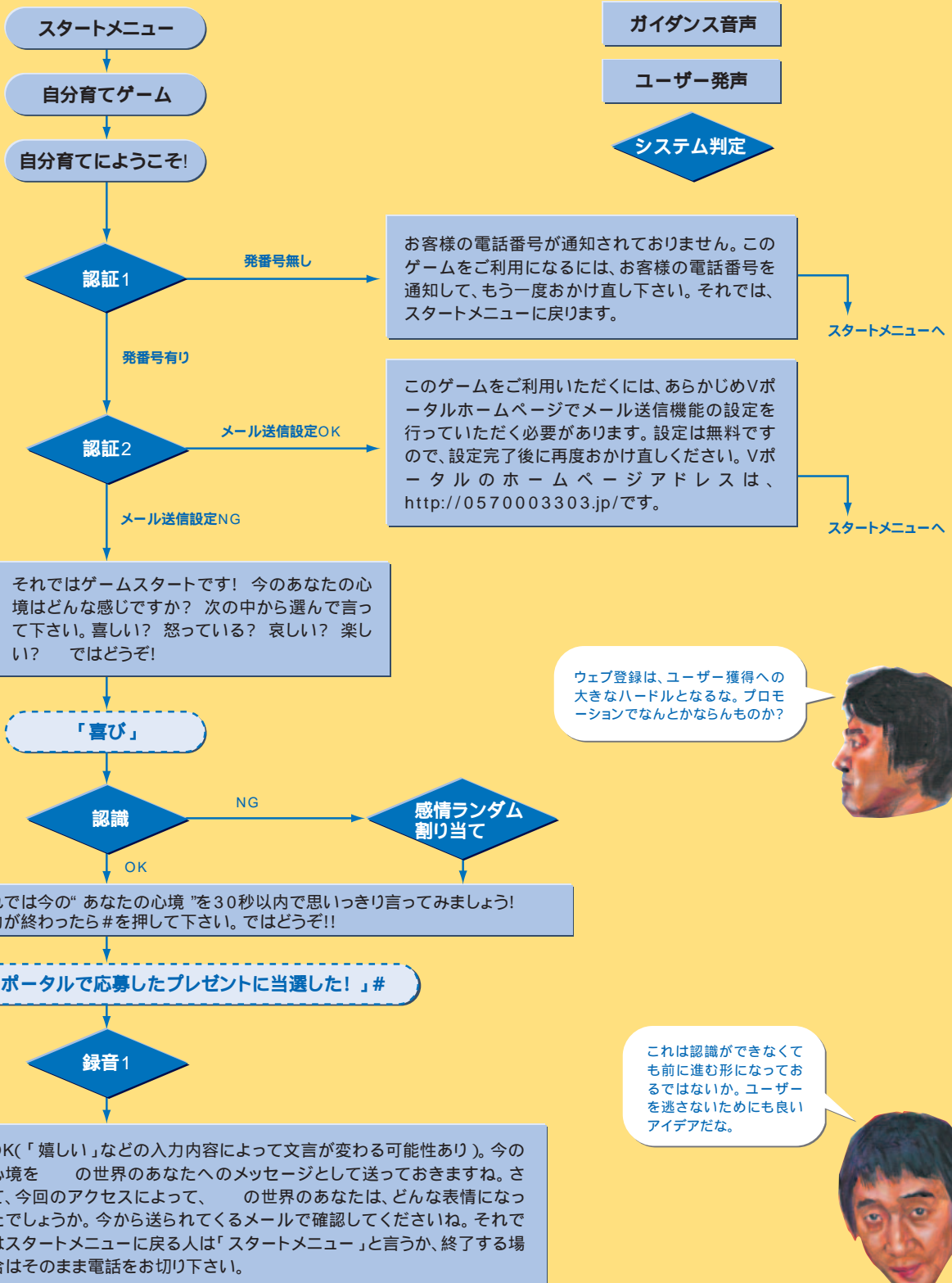
携帯電話にイラストを送ってもらうためのアドレスを入力。ウェブで、自分がどのあたりにいるかをチェックする。

毎日1回アクセスしてもらうには、やはりイラストがおもしろく、愛着が湧くものでないとダメでしょう。また、“自分育てゲーム”に参加している人の中で、自分が怒っているほうなのか、喜んでいるほうなのか、それがわかるグラフなどがウェブから見ることができるといいかも……。





これが自分育てゲームのコールフローです!





て、マヌケな河内くんも勉強をしてみてもいかがかのう。

河 く、くう。言わせておけば！表に出させ！このカネゴンめ！

倉 やめんか2人とも！ワシが、お主らのアイデアを合わせた素晴らしいコンテンツを提案してやるう。Vポータルを使ったのど自慢じゃ。名付けて「歌うVポータル」じゃ。酔っぱらいのおじさんたちが集まってきて楽しいぞ！

別、河 ……。

システムを作り込め！

湯 まあ「のど自慢」はおいといて、守銭奴殿も、マヌケ殿も悪くないアイデアだぞ。もう少し詳しくアイデアの概要を聞かせてもらえぬかのう。

別 就職Vポータルは、まずウェブで履歴書に書くような情報と、自分の番号を登録しておくのです。登録した就職希望者は、電話でVポータルにアクセスし、就職したい会社を指定、自分の登録番号を言ってか

ら、なぜその会社に就職したいのか、熱く語るのです。その熱く語った内容を、企業の人事担当者が聞いて合否を決め、受かったものを面接に呼ぶわけですね。いちばんのメリットは、紙に書いた文字ではなかなか理解できない受験者の性格を、生の声なら把握しやすいということが挙げられるでしょう。

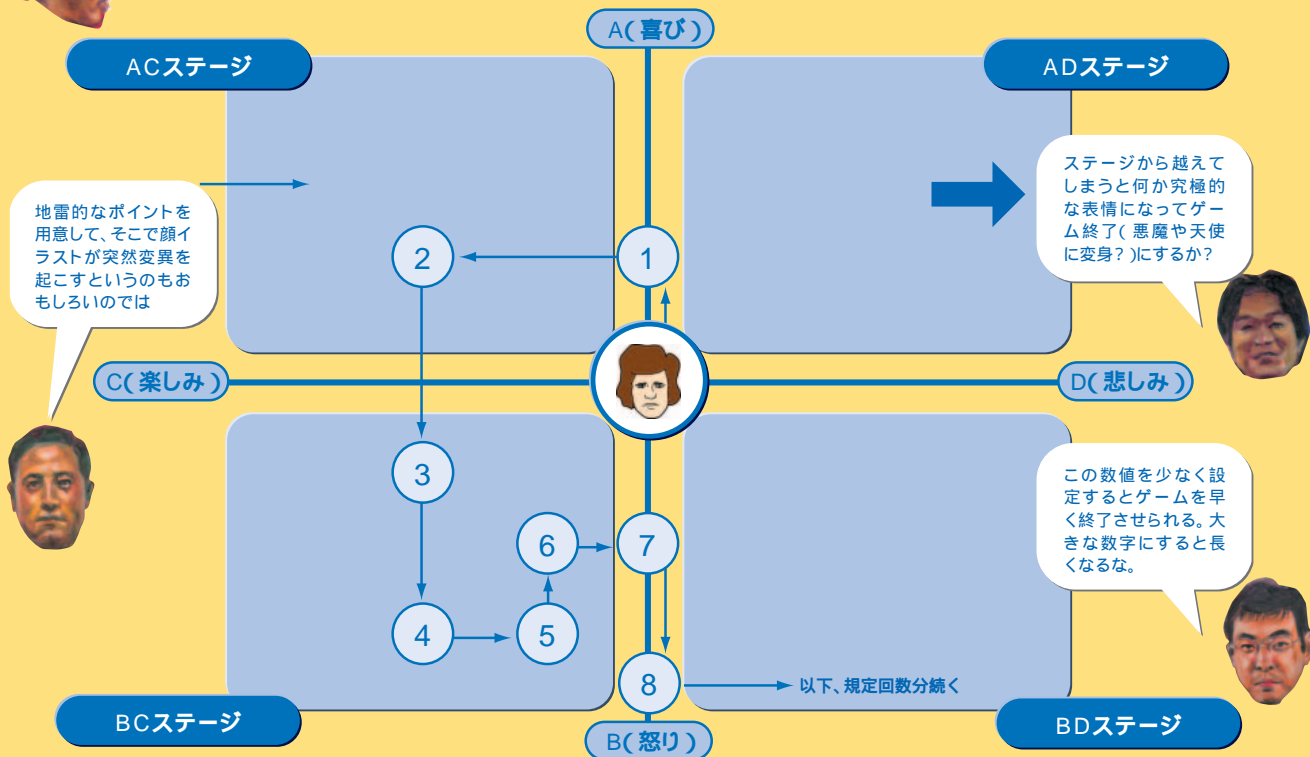
湯 うむ、確かによいアイデアじゃ。では、自分育てゲームのほうはどうかのう。

河 先ほども申したとおり、毎日Vポータルにアクセスし、今の自分の気持ちを、「喜んでいる」「怒っている」「哀しんでいる」「楽しんでいる」の4つうちのどれかから選ばせるのです。そして、吹き込んだ感情によって変化する自分の顔が携帯電話の待ち受け画面として送られて来るといふものですね。もちろん、この場合も待ち受け画像のダウンロード先のURLなどをあらかじめ登録しなければなりません。

武 問題はそこなのじゃ。どちらも一度Vポータルのホームページにアクセスしなければならん。これは、あまりインターネット



押忍！顔イラストは以下のように推移させてはどうか



を使わない人を、気軽にインターネットの世界に導こうとするVポータル理念に反しているようにも思えてならんのじゃ。

村 わかる。お主の気持ちは痛いほどわかる。しかし、Vポータルの特徴を最大限に活かせるコンテンツを作ろうと思えば、やはりウェブでの登録は必要なのだ。

河 僕はウェブを使ってもいいと思っているのです。できれば、ウェブ上に仮想の世界を作り、怒ってばかりいる人のエリア、喜んでばかりいる人のエリアなどにわけて、自分が自分育てゲームに参加している人の中でどれくらい怒っているのかなどが一目でわかるようになってほしいと思っているのですが、それは可能なのでしょうか？

荒 技術的には不可能ではない。だが、最初はシンプルに顔が送られてくるだけでもよいのではないかと？

湯 うむ、顔の変化は左下の図にあるように、推移していくシステムにしてみようぞ。

倉 こういう推移の仕方なら、しっかりと自分の「成長」が見てとれるな。さらに、どこかに「地雷的」なポイントを作って、そこに着いたらプレゼントが当たるなど、いろいろな仕掛けも考えられるな。

河 うーむ、そうなるとやはり送られてくる顔のイラストがどれくらいおもしろいか、育てていくうちにどれほど親近感がわくかが重要ですね。ちなみにイラストのサンプルを右上に掲載しておきましたので、皆様の意見をちょうだいできれば幸いです。

武 しばし待たれよ。ワシはまだウェブ登録の件については反対なのじゃ。しかし、7月7日に正式オープンしてしまうからしかたがない。ワシはいかにすれば皆が「自分育てゲーム」を認知し、ホームページにアクセスできるようになるかを考えよう。そのためにオープンに合わせて、右のような仕掛けを考えてみたぞ。

別 おいおい、ワシの儲かる「就職Vポータル」は？

山 カウンタックのVポータルコンテンツはいかが相なり申したか……。

倉 「酔っぱらいオヤジのVポータルのど自慢」はすごくおもしろいと思うんだけどなあ。ダメですか？

一同 ダメです。押忍！



押忍！イラストはこんな感じでいかがか



スタート時



怒ってばかりいるとこんな顔に変化する

うーん、何かがたらん。そうだ！胴体じゃな、胴体！イラストをバスタアップにすることによって、洋服などの小物でも、イラストに変化を持たせることができるぞ。あと、何で外人顔なんだ？これでは「ボブ育てゲーム」になってしまうぞ。

ただ、イラストレーターのタッチは問題ないな。このノリで、Vポータルの顔になるぐらいのイラストを作ろうぞ！



自分育てゲームは7月7日にスタートです！



7月7日、七夕の日に「自分育てゲーム」はオープンします。

7月7日に来たら0570-0033-03に電話をして、スタートメニューで「自分育てゲーム」と叫び、当道場で練りに練られた汗と涙の結晶のコンテンツ「自分育てゲーム」を遊んでみるのじゃ！

CD-ROMにも入ってます。

本誌付録CD-ROMのメニューから、「1 Vポータル開発ツール」をクリックするとVポータルコンテンツのデモが体験できるのじゃ。0570-0033-03に電話をする前に、まずCD-ROMで「Vポータルとはなんぞや！」を勉強してみたいかがか。

Vポータル企画道場専用ホームページが出来ておる！

ついに我が道場専用のホームページ internet.impress.co.jp/v-portal/ がオープンしたぞい。我が道場の歩み、各メンバーのプロフィール、自分育てゲームの開発状況を知りたいお主は、今すぐアクセスじゃ！

ちなみに意見がある輩は専用メールアドレス「im-v-portal@impress.co.jp」にどしどしメールをくれい。お主のアイデアが新たなVポータルコンテンツを作り出すかもしれんぞ！



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp